

令和5年度の総務委員会では、これまで以上に単位PTAに必要とされる北九州市PTA協議会を確立する事を目的として、協議会のスケールメリットを活かし、各単位PTAの事業を収集しホームページ上で公開する「わが校の自慢事業こんなことやりました！」を実施しました。

本事業の趣旨をご理解いただいた皆様方の協力もあり、当初の目標であった50件事業を大きく上回る64件事業を集める事ができました。

た。どの事業も地域の特性が示された事業ばかりで、これから事業に取り組みたいと思っている単位PTAの会長さんに自信を持ってお勧めできる事業ばかりです。まだ、ホームページを見ていない会長さんは、是非一度ご覧になっていただければと思っています。この事業公開を行った事で各単位PTAの活動の後押しとなり、さまざまな事業が行われ、子どもたちの笑顔が溢れる事を祈念しています。

今度も各単位PTAの皆さんのご協力を得ながら、存在意義をしっかりと定め、「めんどくさい」「どうせ○○」といった言葉に象徴されるマイナスのエネルギーに抗いながら、公の力に支配されないボランティアとして踏ん張っていきます。



令和6年度（一社）北九州市PTA協議会会長を拝命いたしました穴井秀和です。昨年あたりから、様々なPTA活動がコロナ以前と同じようになり、各学級で実施できるようになり、各学級の単位PTAでも、行事や活動などの新しい在り方について模索が続いていることと思います。

私たち北九州市PTA協議会は、さまざまな研修会の開催や、表彰制度、安全互助会制度などで、各学級の単位PTAの活動を支え、応援しています。さらに保護者の代表として、教育委員会、行政などに提言をしたり、会議に参加して意見を述べたりすることで、子どもたちが笑顔で、安心して学び成長できる環境づくりに尽力しています。

今年度の具体的な取り組みとして、各種講演会・研修会の開催や教育委員会への要望書提出、更に以下の事業を展開しています。

- ・各学級の単位PTA、また区ごとの連合会が情報の共有、発信がしやすくなり、保護者の方も様々な情報に手軽にアクセスできる手段としてDXの推進をしています。
- ・子どもたちの様々な体験や他の公団体、組織との共催事業を計画しています。
- ・小・中学生総合補償制度に加入してきたにも関わらず、継続加入ができていなくなってしまう方に対して、救済措置の導入を検討しています。

令和6年度（一社）北九州市PTA協議会会長 穴井 秀和

発行責任者 会長 穴井 秀和

ホームページでも情報発信中 !!



発行 (一社)北九州市PTA協議会 北九州市小倉北区大門一丁目6番43号 (北九州市立生涯学習総合センター2階) ☎(093)581-7268



令和6年度 国内研修事業 in 黒崎播磨陸上競技場 in HONJO

11月17日(日) 10時〜15時

逃走中や野球体験、子どもたち考案の外遊びなどで楽しく体を動かそう！

令和6年度 国内研修事業

令和6年3月末、全国の中学二年生を対象とした「日本PTA国内研修事業in 渡嘉敷村（4泊5日）」がおこなわれました。この研修では、全国から約100名の中学生が集い、グループに分かれて寝食を共にしながら、集団生活の心得「コミュニケーション能力、他者への理解、沖縄現地の皆さんとの交流、戦争の歴史、美しい自然、伝統、文化を学びます。令和5年度は、久間 みづきさん（富野中学校）、高宮 架音さん（木屋瀬中学校）が北九州市代表として参加してくださいました。お二人の感想文を本紙でご紹介いたします。



私の最幸（高）の沖縄研修

二年生の二学期、学校の廊下で掲示板に貼られている研修「沖縄」という言葉を見つけ、それを見て「行ってみたい」と思いついた。一人で大丈夫かな、という不安もありながらも、申し込むことにしました。

私は今回の研修で目標を二つ立てました。それは「多くの友達を作ること」と「積極的にコミュニケーションをとること」です。この目標を持って沖縄へ出発し、目標を達成することができたと思います。全国から来た同級生は地方によって方言が全然違って、おもしろかったです。また研修では、沖縄の歴史や自然、文化を学びました。大切な仲間と一緒に過ごした幸せな五日間は私の最幸（高）の時間になりました。そして、今回の研修で仲間と、世界をよりよく



国内研修事業に参加して

私は、沖縄の渡嘉敷島で行われた国内研修事業に参加しました。特に心に残ったプログラムは、透き通った青い海で行われたシュノーケリングと大型カヌーです。大型カヌーでは約二十人の仲間たちと息を合わせパドルを漕ぎました。

富野中学校 久間 みづき

ジ色のTシャツにお別れのメッセージを書き合い、次の再会を約束して、それぞれの町へ帰りました。



我が校の自慢事業

こんなことをやりました！

事業報告

令和5年度の総務委員会では、これまで以上に単位PTAに必要とされる北九州市PTA協議会を確立する事を目的として、協議会のスケールメリットを活かし、各単位PTAの事業を収集しホームページ上で公開する「わが校の自慢事業こんなことやりました！」を実施しました。

本事業の趣旨をご理解いただいた皆様方の協力もあり、当初の目標であった50件事業を大きく上回る64件事業を集める事ができました。

た。どの事業も地域の特性が示された事業ばかりで、これから事業に取り組みたいと思っている単位PTAの会長さんに自信を持ってお勧めできる事業ばかりです。まだ、ホームページを見ていない会長さんは、是非一度ご覧になっていただければと思っています。この事業公開を行った事で各単位PTAの活動の後押しとなり、さまざまな事業が行われ、子どもたちの笑顔が溢れる事を祈念しています。

今度も各単位PTAの皆さんのご協力を得ながら、存在意義をしっかりと定め、「めんどくさい」「どうせ○○」といった言葉に象徴されるマイナスのエネルギーに抗いながら、公の力に支配されないボランティアとして踏ん張っていきます。

第17回 いじめ防止標語コンテスト 入賞作品

北九州市・小学生の部

賞	標語	氏名	学校名	学年
全国賞	だれかがきめたふつうを人におしつけない	古賀 愛里	赤坂小学校	6年
優秀賞	「女子だから」「男子だから」をぶっこわせ 自分らしくで いいじゃない	阿部 ひなた	赤坂小学校	6年
優秀賞	だいじょうぶ 君にはいいとこ たくさんある	伊藤 悠人	一枝小学校	6年
PTA推薦賞	笑いごえ 心をよごす くるしいな	谷本 乙希	赤坂小学校	4年
PTA推薦賞	性別なんて関係ない 自分の好きが一番大事	梶原 美歩	赤坂小学校	6年

北九州市・中学生の部

賞	標語	氏名	学校名	学年
優秀賞	いじめっ子 "だって"は都合が よすぎない？	末松 愛璃	早稲中学校	1年
優秀賞	穴あいた 心の形 もどらない	大工 歩美	東郷中学校	1年
PTA推薦賞	言わないで 「ふつうでしょ」は ちがうから	阿南 愛彩	富野中学校	1年
PTA推薦賞	一言で 無限に広がる SNS	上村 天人	早稲中学校	1年

※令和5年度の学年です。

令和6年度 広報紙コンクール審査結果

優秀校 「志井小学校」「大里柳小学校」「清水小学校」「足立中学校」

優良校 「中原小学校」「浅川中学校」「菊陵中学校」

佳作校 「日明小学校」「西小倉小学校」「南丘小学校」「守恒中学校」

24時間様々な危険からお子さまをお守りする 小・中学生総合保障制度のご案内

（一社）北九州市PTA協議会 推薦

本制度の特長

- ① PTAで加入したく団体割引（適用割引25%／2024年度）により掛金が割安です。
- ② 「傷害（ケガ）補償」・「個人賠償責任補償」・「育英費用補償」の3つの補償でバックアップ!!
- ③ 医師・看護師・ヘルスカウンセラー等による健康・医療相談。④ セカンドオピニオン アレンジサービスがついています。
- ⑤ 地震・噴火・津波によるケガの補償がついています。⑥ 児童・生徒が病気をされた場合の補償プランも選べます。
- ⑦ 学校の授業・登下校中に児童・生徒が携行している身の回り品の事故による損害補償プランも選べます。

北九州支店 小倉北区堺町2-3-31 AIG小倉ビル 小・中学生総合保障制度係

【幹事会社】AIG損害保険株式会社

【非幹事会社】東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社

【注 所】〒802-0005 小倉北区堺町2-3-31 AIG小倉ビル 【電話番号】093-511-3821【受付時間】午前9時～午後5時まで（土日・祝日・年末年始を除く）

・本制度の補償期間は2024年4月1日（午前0時）～2025年4月1日（午後4時）までとなっております。補償期間の途中からご加入希望の場合には上記お問合せ先までお問合せ下さい。

・この広告は制度の概要を説明したものです。詳細につきましては、3月上旬に配布されましたパンフレットをご覧ください。

S-240519 202506



今年度の体制発表

令和6年度(一社)北九州市PTA協議会役員

役員(役職名)	氏 名	所属(連合会及び学校種)
会 長	穴 井 秀 和	八 幡 東 区 中 P 連
	三 原 達 也	市 小 学 校 長 会
	上 田 あ け み	市 中 学 校 長 会
	緒 方 直 彦	市特別支援学校長会
	比 嘉 泰 大	門 司 区 小 P 連
	佐 藤 聖 士	小 倉 北 区 小 P 連
	藤 井 身 依	小 倉 北 区 小 P 連
	栗 丸 直 也	八 幡 西 区 小 P 連
	岩 谷 か お り	門 司 区 中 P 連
	久 間 猛	小 倉 北 区 中 P 連
副 会 長	末 松 一 英	小 倉 北 区 中 P 連
	樋 口 卓 也	小 倉 北 区 中 P 連
	玉 井 竜 滋	小 倉 北 区 小 P 連
	嵐 山 義 広	戸 畑 区 小 P 連
	高 橋 理 恵	小 倉 北 区 小 P 連
	東 靖 彦	小 倉 南 区 小 P 連
	島 家 秀 子	八 幡 東 区 小 P 連
	浦 濱 恵 介	八 幡 西 区 中 P 連
	藤 井 信 也	戸 畑 区 中 P 連
	緒 方 眞 奈 美	市 小 学 校 長 会
専 務 理 事	甲 斐 孝 一	市 中 学 校 長 会
	宮 倉 貴	門 司 区 小 P 連
	日 高 洋 平	小 倉 北 区 小 P 連
	丹 野 博 詞	小 倉 南 区 小 P 連
	松 田 孝 浩	八 幡 東 区 小 P 連
	小 嶺 陵 司	八 幡 西 区 小 P 連
	小 瀬 戸 寿	戸 畑 区 小 P 連
	鳴 秀	門 司 区 中 P 連
	大 石 一 栄	小 倉 北 区 中 P 連
	畔 津 憲 司	小 倉 南 区 中 P 連
理 事	藤 重 め ぐ 美	八 幡 東 区 中 P 連
	矢 羽 田 翔 志	八 幡 西 区 中 P 連
	古 賀 丈 太	戸 畑 区 中 P 連
	三 野 賢 大 郎	小 倉 南 区 小 P 連
	小 松 博 幸	戸 畑 区 小 P 連
	伊 藤 修 太	小 倉 南 区 小 P 連
監 事		



門司区小学校PTA連合会
宮倉 貴



小倉北区小学校PTA連合会
日高 洋平



小倉南区小学校PTA連合会
丹野 博詞



八幡東区小学校PTA連合会
松田 孝浩



八幡西区小学校PTA連合会
小嶺 陵司



戸畑区小学校PTA連合会
小瀬戸 寿



門司区中学校PTA連合会
鳴 秀



小倉北区中学校PTA連合会
大石 一栄



小倉南区中学校PTA連合会
畔津 憲司



八幡東区中学校PTA連合会
藤重 めぐ美



八幡西区中学校PTA連合会
矢羽田 翔志



戸畑区中学校PTA連合会
古賀 丈太



記事担当・北九州市PTA協議会副会長(常務補佐) 藤井身依

北九州市PTA協議会では皆様からの、道路に関するものやそれ以外でも、子ども達の生活や教育に関わる様々なご意見をお待ちしております。

保護者の代表として、子どもたちの登下校の際に危険な箇所がないか、また、より安全に通学できるようにするには、道路はどうあるべきか。今後も、北九州市PTA協議会として、各連合会、そして各学校のPTAの意見を取りまとめ、行政との意見交換をおこなってまいります。

今年度、私が担当として出席させていただいた行政出向の一つに「北九州市の道路整備を考える懇談会」があります。この会議では、市内の大きな道路の長期・中期計画や、子どもたちの通学路の安全に関する事まで、道路に関する多様な内容について話し合います。

保護者の代表として、意見交換を行うことです。今年度、私が担当として出席させていただいた行政出向の一つに「北九州市の道路整備を考える懇談会」があります。この会議では、市内の大きな道路の長期・中期計画や、子どもたちの通学路の安全に関する事まで、道路に関する多様な内容について話し合います。

行政出向について



令和6年7月27日(土)に北九州市PTA指導者研修会が開催されました。講師に北九州市立大学教授の眞鍋和博先生をお招きし、「いま求められる教育と学び」というテーマで体験したお話をいただきました。眞鍋先生は大学教授というお立場で50歳を過ぎて英国に留学しています。持続可能な人材育成や企業経営を英国で学びながら、日本を外から見る事を目的として留学されたそうです。実体験をもとに英国の面白いお話、留学したから気付けた日本の素晴らしさ等をユニークにお話していただき、大変勉強になりました。

眞鍋先生は、時代は進み高校留学も当たり前になってきているなか、一人ひとりの子どもたちには、無限大の人生があると語られていました。「いま求められる教育と学び」を親である私たちが子どもたちへどう導いていくべきか。そのためには「親も勉強しよう」と笑顔で言っていた眞鍋先生の言葉は、とても印象深く心に残りました。

指導者研修会報告



令和6年8月17日(土)家庭教育講演会が開催されました。昨今「首都直下型地震」や「南海トラフ地震」などが懸念され、私たちの防災意識は高まっています。そこでPTA協議会では、二度にわたり大災害の体験をした柳原志保氏にご講演いただきました。今回は、「いつかではなく、今やろう!!」子どもの笑顔を守る安心術」をテーマに、大災害の経験と教訓を、歌や体操などを用いて分かりやすくお話していただきました。

簡易トイレの大切さ、非常食、プライベートの確保など体験をもとに話される内容は、知っているつもりでいた防災知識では考えられない状況になりうることを知りました。日頃からの災害時の備えは勿論、話し合いが大切であることを痛感しました。

その他にも消防音楽隊の演奏や、地震体験車や煙体験、応急手当体験等様々な体験を行えるブースを設けました。

今回の家庭教育講演会の開催にあたって、柳原志保氏の「子どもたちの笑顔を守るためには、私たちができることを、いつかではなく今、備えることで子どもたちに安心を与えることができる」という事を全体を通して学ぶことができました。

家庭教育講演会報告